

生活

身近な情報 “たな卸し”

太陽光発電

一戸建て住宅での太陽光発電普及率は5.633% (2011年3月末時点)で全国2位を誇る熊本県。今年3月の東日本大震災発生以降も、エコへの関心が高まったこともあり設置件数は昨年と同水準を維持しているという。サッシ・住宅設備メーカーの(株)LIXIL(リクシル、東京都江東区)が長洲町名石浜の有明工場敷地に出力3750万キロワット、年間発電量390万キロワット時の太陽光発電施設を建設するなど、メガソーラー(大規模太陽光発電)も登場した。



長洲町名石浜にある「長洲町リクシル有明ソーラーパワー」

水

3月11日の東日本大震災以降、被災地の水不足から全国的に水の需要が高まった。県内でも熊本市オフィシャルウォーター「熊本水物語」が支援物資として被災地に送られたことなどで品薄状態に。個人レベルでも水を購入して被災地に送るなどの動きがあり高需要状態が続き、さらにペットボトルメーカーの被災で容器不足となって一時生産ストップ、3月下旬から5月半ばにかけて販売停止を余儀なくされた。



熊本市オフィシャルウォーター「熊本水物語」

私立中学

熊本学園大学付属中学校(熊本市大江2丁目)、鎮西中学校(同市九品寺3丁目)が2011年4月に相次いで開校。既存校では尚絨中学校(同市九品寺2丁目)が同時期中高一貫コースを新設するなど、少子化に対応するための取り組みが各校で進められている。



熊本市大江2丁目の熊本学園大学付属中学校

2011年を振り返る

熊本の話題

「タイガーマスク運動」「東日本大震災」「大相撲八百長」「地上デジタル放送完全移行」など、多くの出来事が起きた2011年、身の回りではどのようなことが話題となりましたか。熊本の1年を振り返り、新年を有意義に過ごす心構えを持ちましょう。

新幹線

3月12日に九州新幹線が全線開業。JR熊本駅前の「くまもと森都心」、熊本場内の観光施設「城彩苑」などの拠点がオープンしたほか、道路や都市交通網などの関連インフラ整備が続いている。

2011年3月12日、新大阪に向けてJR熊本駅を出発する一列車「さくら544号」



電気自動車

原油高や環境対策についての関心の高まりなどを背景に、ガソリンなどの化石燃料を使用せず電気だけで走行する電気自動車に注目が集まった。近年では三菱自動車工業の「i-MiEV(アイミーブ)」や日産自動車の「LEAF(リーフ)」などが登場。県内でも2011年初頭から個人所有だけでなくタクシー業者の導入などがあり、公共・民間施設での充電器設置も進んでいる。



充電中の電気自動車「リーフ」

— 月刊経済誌「くまもと経済」が取り上げた! —

話題の“新商品”

今年も残りあとわずか。家中の点検はもう終わりましたか? いらない物、必要な物をきちんと整理して、気持ちの良い新年を迎えたいものです。ここでは月刊経済誌「くまもと経済」に掲載された記事の中から抜粋して、県内で最近発売された話題の新商品を紹介し、役立つ情報を仕入れて、より快適な生活を送りましょう。

注目記事

「世界初の働き者の手すり」UNIP

清永宇蔵商店



▲ステンレス製「ユニップサス」



▲樹脂コーティング「ユニップカラー」

総合建材商社の(株)清永宇蔵商店(熊本市九品寺6丁目)が世界初の働き者の手すりとして注目を集め、県内では熊本市西区役所をはじめ教育機関などに導入が決定し、住宅メーカー・体育施設などで早くも標準装備に採用されるほどの人気ぶりだ。同社が取り組んだのは、握ることができるのではなく、握るのに最適な手すりの開発。使用者の支えになりたいという思いを形にした働き者の手すりだ。ユニップ最大の特徴は、手すりの細い部分と太い部分が滑らかなカーブラインを描いて連続する波形の外觀。最も細い部分の直径は30mm、太い部分は38mm、波形の頂点は70cm、L型同70×70cm、U型同70×70cm。形状の種類はI型長2371mm、E型長2371mm、O型長2371mm(清永宇蔵商店ユニップ事業部)。

と頂点の間隔は100mmで、この種材質はステンレス製の子どもから高齢者までのユニップサス、樹脂コーティングしたアルミ製のユニップカラーの2種類がある。一般住宅などにお薦めというユニップカラーは14種類のカラーバリエーションがあり、「サス」に比べ軽量という特徴がある。本体価格は両材質ともI型が2万円1千円、L型が4万4千円。



富田裕美さん

くまもとミルク夢工房リバーユ代表  
(熊本市戸島町)

1月から飲食店など向けに「牧場主が作ったぎゅう〜と乳(NEW)アイス」の卸販売を開始します。自社牧場の搾りたて生乳と不知火みかん、赤酒、水前寺のり、山江栗など県産農産物を使っており、卵や人工着色料不使用なので健康に関心のある女性に食べてほしいですね。

元気発信!



村岡麻美さん(46)

スマイルスイーツ代表  
(熊本市田迎2丁目)

クッキーの表面に粉砂糖と卵白などで作った「アイシング」を用いてデザインを描くアイシングクッキーなどを扱う店舗をオープン。シュガークラフトなどの展示販売や、初心者向けのレッスンも随時行っていますよ。

元気発信!



澤村知範さん(36)

プレイントラスト社長  
(熊本市平成3丁目)

「ワイヤーママ熊本」を発行しています。出産祝い・内祝いの専門店bookmarkも順調で、2号店も視野に入れています。イベント事業にも力を入れており、来年は放送局とのタイアップも模索中です。子どもたちの明るい未来と子育て環境をより良くするため、力を尽くしていきます。

元気発信!



岡崎太陽さん(33)

メディアレーベル社長  
(熊本市市飼本町)

ホームページ制作初期費用5万9800円、月額費用5980円と低価格を打ち出し、会社設立1年目で契約企業100社を突破しました。毎月の更新やアクセス解析、SEO対策、ウェブ戦略のコンサルティングまで行っており、お客さまからも喜んでいただいていますよ。

元気発信!



吉田友紀さん(41)

アイリス整体院熊本代表  
(合志市須屋)

店舗を移転オープンしました。足つぼは20分1千円から、整体は30分1500円からと、リーズナブルな料金設定なので、気軽に利用できます。日ごろの疲れを癒やし、リラックスした至福の時間をお客さまに味わっていただきたいです。

元気発信!



村上賢太郎さん(34)

御菓子司きくもとや4代目  
(熊本市春日2丁目)

「ひごのらくがん」などの和菓子を創業時から作り続け、111年目を迎えました。冬は濃厚で上質な熊本の栗を使った和菓子を用意し、栗の名産地としての熊本をPRしています。今後は伝統を守りつつ、新商品開発にも取り組んでいきます。

元気発信!